

みつくら

平成30年 5月15日 第266号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

宮澤賢治野宿100周年を記念して式典

5月2日に宮澤賢治野宿地保存会(板垣寛会長)は宮澤賢治が葛丸川の上流の割沢に野宿して100周年になる日を記念して式典を開催した。花巻市長をはじめ多くの来賓を迎え、加えて大瀬川地区民や地区外からも多くの人が出席して盛大に行なわれた。

主催者挨拶で板垣会長は「この企画は、元の畑集落にお住まいであった藤原助蔵さんと奥さんのレン子さんが居なければ実現しなかった企画であります。10数年前に現地を案内されて去年は再確認の為に現地を訪れました。実際に野宿した事を広く皆様にも知って頂きたいと思っております。」と話された。つづいて、上田花巻市長が「この様な企画は大瀬川ならではの発想で花巻の偉大な偉人である宮澤賢治さんを顕彰する活動を今後も継続して頂きたい」と祝辞を頂いた。

また賢治さんの弟の宮澤清六さんの孫にあたる宮澤和樹さんは「賢治さんはホームレスだったのかと思われる位に大瀬川をはじめ、西は葛丸の奥や東は早池峰山、南は飯豊まで土性調査や農業指導に奔走したと言われてます。この大瀬川は作品に出てくる場所が多い」と祝辞を頂き「ホームレス」のところでは会場から笑いが出た。その後、「映像で綴る宮澤賢治の野宿」をスクリーンに映し出して板垣会長が解説した。

記念講演は、宮澤賢治記念会理事の岩田安正氏を迎えて「宮澤賢治の生涯」と題し、岩田さんが自分で描いた絵を映像に映しながら、賢治さんが命を掛けて農業指導に奔走した時代背景を分かり易く話して頂いた。

次は、石原黎子さんが講師をしている賢治作品音読会の4名の会員が「檜の木大学の野宿」を朗読した。石原さんはステージ前を動きながらの迫力ある朗読を披露した。最後は、エコーくずまるの皆さん8名が白藤淳一さんの伴奏で、宮澤賢治にちなむ歌や葛丸讃歌を伸びのある美声で披露した。恒例の藤原与一郎さんによる所感では、畑集落での生活の様子を詳しく話して頂き、2時間30分に亘る式典を終了した。

参加者は公式発表で87名となり「新春の集い」以来の多さだった。

宮澤賢治の野宿地で座談会

5月2日の100周年式典後の午後、大瀬川振興センター駐車場に野宿の体験を希望する18名が集合した。当初は13名の予定であったが、急遽岩手日報の前川記者も同行する事となり、総勢18名がそれぞれ車に分乗して葛丸川上流の割沢に向かった。

当日は、夜に雨が降り出す天気予報の為、野泊は中止、日帰りとなった。割沢までの30分くらい、林道はかなりの悪路でノロノロ運転。割沢に到着後、事前に駆けた仮橋を渡りいよいよ沢登りとなった。高低差180メートルの所どころは崖崩れしていたため、元の林道を休み休み登った。途中には、山菜やカタクリ・二輪草が咲き、山菜を採る人もいた。1時間あまりで登り、無事に目印の檜の木の下に到着し記念撮影。その後、車座になってそれぞれ思い思いに100年前の賢治になった気分です語り合った。

現在は、辺りが杉林になっているが、当時は雑木林で炭焼しており、視界はもっと良かった事であろう。短歌に出てくる「あやしきもの」についての解釈などを話し合い1時間あまりの座談会を終えて下山となった。登りの半分の時間で車を置いていた場所に全員無事に到着して現地解散となった。

農政研修会が開催

農事組合法人 大瀬川(板垣忠夫代表理事)では、4月22日第4期通常総会開催前に、花巻市農林部長 菅原浩孝氏を講師に「最新の農業情勢について」の研修会を行った。菅原氏から、「平成30年度以降は国による米の生産数量目標の配分と直接支払交付金が無くなり、岩手県では県農業再生協議会から各地区の生産の目安が出され、花巻市農業推進協議会から生産者に掲示となった。全国的に米の消費量が減少する中、県内でも圃場整備予定地区が90地区もあり当地区も計画されている。

これからは、生産者が自らが米価・農業経営の安定のためにも需給調整に取り組まなければならない。花巻市では農林水産費(約38億円)の中から、農業生産支援・担い手育成・生産基盤等に支援を行っている。そのためにも、認定農業者・集落営農組織等が中心となり、住民や農業者が協力した共同活動に取り組むことが、これからの地域農業・農村社会の維持発展に繋がる」とあった。

総会前の短い時間での研修会だったが、新たな農政指針を知る機会となった。また、総会後には収入保険制度(平成31年に開始)のポイントを岩手県農業共済組合の高橋憲明中部地域センター長から説明があり、詳しく知りたい方は担当者が何時でも対応するので共済組合へ連絡下さいとあった。

大瀬川高度水田利用組合が解散

大瀬川高度水田利用組合(板垣忠夫組合長)の第17回総会

が、4月22日に大瀬川構造改善センターで17名(書面議決73名)が出席、菅原教雄議長を選出して平成29年度の収支決算を承認後、平成27年度産麦・大豆の追加余剰金(876,187円)は参加農家へ面積割での交付。

また、平成28年度の余剰金(635,103円)は余剰金処分の公平化を図って平成25年度からの3カ年に亘って参加農家の加重平均面積として交付するが可決された。

これにより、平成12年に発足した大瀬川高度水田利用組合を解散するの議案が出され、付帯決議として「当組合解散後の権利、義務の一切を農事組合法人 大瀬川へ移管するものとする」を満場一致で可決された。

農事組合法人 大瀬川の総会が行われる

去る 4月22日大瀬川構造改善センターで大瀬川高度水田利用組合総会后、休憩を挟んで農事組合法人 大瀬川(板垣忠夫代表理事)の第4期通常総会が17名(議面議決73名)が出席、菅原教雄議長を選出して議事に入った。板垣代表理事より、「総会は4回目ですが、事業としては2年度目です。まだまだ、試行錯誤の中で行っており、人手不足も深刻ですが慎重審議をお願いします」と挨拶があった。

平成29年度の事業報告と収支決算では、事業面積は9571.9a(小麦6959.4a 大豆1780.9a 飼料用米834.6a)の中で特に、土壌改良が急務となっていると報告が出された。続いて、平成30年度事業計画案では、事業面積が114,774aと増え、土壌改良5カ年計画や作業員協力そして、支払地代12,000円/10aが出され、どちらも満場一致で可決された。また、組合員加入(新規5名 相続変更6名)や役員を選任も満場一致で可決された。

「身体に気をつけて」厄払い

大瀬川年祝実行委員会(藤原美輝委員長、委員17名)主催の大瀬川地区合同年祝いの会は、4月22日に山祇神社と大瀬川振興センターで行われた。今年の対象者は50名でその内33歳は該当者がなく、42歳が3名であった。

実行委員の方々は午前山祇神社の掃除と大瀬川振興センターの会場準備をし、午後は直町宮司によって神社で厄払いの後、大瀬川振興センターで直会を行った。

直会では、藤原美輝委員長が「先ほど、山祇神社において厄払いをして来ました。厄年を迎えられました皆さんには、この一年間お身体に気をつけられてお元気にお過ごし下さい」と挨拶された。

来賓の熊谷秀夫大瀬川活性化会議会長は「一昨日、大瀬川活性化会議の総会が行われ、事業報告で25名が参加したワークショップの内容を披露しました。その時に若い方々から斬新な提案が多く出されたので、それらを踏まえて大瀬川の活性化に取り組みたい」と祝辞を述べられた。

昔から人生の節目に当たるこの厄年をお元気で過ごして欲しいもの。

みつくら

平成30年 5月15日 第266号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

例年より一週間早かった桜の開花

大瀬川の桜の開花は例年より一週間早かった。みつくら編集委員会では「話しの種」にと4月10日から30日まで一日2回、石鳥谷町内の桜の開花を調査した。町内で最も早い開花は芽吹き屋で、最も遅い開花(しだれ、八重は除く。また、年中咲いている金矢の四季桜は対象外)は葛丸湖の4月23日であった。

大瀬川地区内を記載

- 4月16日(朝) 徳次郎堤
- 4月17日(朝) 桃の木 (夕)柳原魚店
- 4月18日(夕) 7区自治公民館(東門)
- 4月19日(朝) 茶畑 樺田 プール脇 長兵衛治しだれ 運動公園トイレ 九口竈 森子向竈 高井沢土場 (昼)運動公園標準木 板垣床屋 且の花しだれ (夕) 薬師堂川 向田 野子 上野々竈
- 4月20日(朝) 7区自治公民館(花壇脇) 向 中谷地 野原 温平 畠山造園尾平展示場 徳次郎道路 (夕) 一の留 中ノ家(入口)しだれ 才助 万吉堤
- 4月21日(朝) 高井沢組堤 治兵衛 堤田北山 山祇神社 百目木しだれ 渡里りんどう(道路分かれ) (夕) 大瀬川公葬地駐車場 中ノ家西しだれ 善助竈(8区)しだれ
- 4月22日(朝) 板垣床屋しだれ 千鳥苑 上野々しだれ 森子坂しだれ 助作竈
- 4月23日(朝) 黒森山中腹 葛丸溪流ポケットパーク 葛丸湖北ノ沢東屋 高井沢堰堤(砂防ダム) (夕) 薬師堂川八重
- 4月29日(朝) 甘木八重
朝夕の観察で分かったのは、夜も桜が咲くという事であった。夕方、暗くなる頃に8輪だった開花が、翌朝の夜明けには30輪になっていたので「夜にも桜は咲く」のを初めて知った。尚、樺田の桜は4日間ライトアップをしていた。(参考:町内) 4月16日(夕)旧八重畑農協倉庫、17日(朝)新堀小学長、18日(朝)商工会館標準木など

人 事 (敬称略)

南野原水利調整組合長 板垣光善
 大北水利組合長 畠山勝栄
 大瀬川運動公園管理人 板垣 公
 石鳥谷小学校PTA会長 高橋庄一
 7区農家組合長 畠山義弘
 副組合長 菅原教雄
 7区自主防災会会長 辻村 睦
 副会長 畠山勝則 畠山義弘
 交通安全協会大瀬川分会
 会 長 板垣吉彦(再)
 副会長 畠山勝敏(再) 熊谷記彦(再)
 交通安全母の会 熊谷政子(大瀬川代表)
 板垣あや子 菅原幸代
 (農)大瀬川 代表理事 板垣忠夫(再)
 理事 熊谷善志(再) 菅原利夫(再)
 理事 菅原清昇(再) 板垣博文(再)
 監事 菅原新一郎(再) 板垣正博(再)

自転車点検後に安全通行

大瀬川子供育成会主催の小学校自転車教室は、3月18日に新3年生以上の児童(17名)と、父兄など関係者36名が参加して大瀬川振興センターと路上で行われた。最初は室内で佐藤倉吉交通指導員(大興寺)から「自転車は自動車と同じ法律の中で運転しなければならない」などの講話を聞いたあと、駐車場に自転車を並べ石鳥谷交番2名の警察官と菅原房子交通指導員からブレーキなど4点の点検指導がなされた。実際の路上指導では、手信号の仕方や、発車前に「後ろ」「右」「左」「前」を確認し、自転車の通行区分や信号の渡り方など一人ずつ教えていた。路上実習は大瀬川振興センターを西側に出て、県道盛岡和賀線に出た後、市道大瀬川線を左折し、上野竈家で左折、万吉竈家を再び左折して薬師堂川沿いに西に進み、大瀬川振興センターまで戻るコースで行っている。

訃 報

○坂の上の菅原敬次さんは、4月2日に74歳で亡くなりました。菅原さんは、盛岡市本宮生まれで若いころは盛岡本宮農協職員、丸大食品岩手工場社員として働いていました。最近では、妻の照子さんと稲作・リンドウ農家で亡くなる日まで働いていました。昨年は、第7区農家組合副組合長を務め亡くなる前日に第7区農家組合長に就きました。
 菅原さんは、昭和61年石鳥谷中学校PTA大瀬川地区委員長、平成12年藤本酒造(滋賀)平成12~27年大瀬川高度水田利用組合理事、平成13~21年花巻農業協同組合総代、平成13年大塚酒造(茨城)平成14年吉崎酒造(千葉)平成15~16年大沼酒造(宮城)平成14~17年第7区自治公民館長、平成14年現在田中堤地権者会長、平成14年大瀬川音頭・大瀬川讃歌作曲制定委員会副委員長、平成16~21年

花巻農協総代、平成21年大瀬川活性化会議地域づくり委員会副委員長を務めました。
 また、平成23年石鳥谷町自治公民館連絡協議会より表彰を受けています。特に、大瀬川戦没者慰霊祭の準備では洗浄機を持ち込んでの清掃活動や第7区自治公民館広場の除雪活動等には大変お世話頂いた事を思い出します。いつも微笑みながら語っていた菅原さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○東家の板垣栄さんは、4月4日に91歳で亡くなりました。板垣さんは昭和19年5月に18歳で熊本県人吉海軍航空隊乙種飛行予科練に入隊、第二国分海軍航空基地に1年3ヶ月間勤務後、海軍二等軍曹で帰還した方でした。
 平成16年に録画した「兵役の思い出」で、板垣さんは「当時、海軍に多くの青年が憧れて志願したが、試験が難しく大瀬川でも少なかった」と語っていたのが思い出されます。

板垣さんは消防団でも活躍され22歳で入団、27歳から実に20年間初代ラップ隊長を務めました。同時に36年ラップでの「葬送曲」に、在りし日の板垣さんを偲びました。板垣さんは、昭和45年の農協職員時には、農協婦人部の皇居奉仕団の引率をして「皇太子殿下の前で奉仕団を紹介し、その場で万歳の音頭をとった」と誇らしげに話していたのも思い出します。

大瀬川体育協会会長、町体協副会長、大瀬川中央長寿会副会長、大瀬川たろし滝測定保存会副会長、大瀬川戦没者慰霊祭初代実行委員長、内閣総理大臣褒賞など多くの功績と薬師堂川桜並木植栽者として日本善行賞を受賞されました板垣さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○菅昭塗装所の創業者でした菅原昭司さんは、4月15日に87歳で亡くなりました。菅原さんは、大瀬川小学校高等科を卒業し、直ちに県工業技術講習所に入学して塗装技術を身に付けました。その後、東京の塗装会社に勤務していましたが、昭和37年に帰郷後、自宅に菅昭塗装所を開業しました。開業当時は看板も掲げていませんでしたが、県建設業許可票の交付を受けてからは事務所兼自宅を新築し、県内外から受注して大瀬川初の塗装会社を経営する傍ら、県内9番目の県塗装技術指導員として認定され、県内の多くの塗装技術者を育てられました。

また、菅原さんは消防団でも活躍され、昭和40年の第1回岩手県消防ポンプ操法大会普通吸管自動車ポンプの部で第5位に入賞した時の選手でした。その輝かしい写真は今でも第1部消防会館に飾られています。大瀬川子供育成会(大瀬川子供育成会の前身)長や、石鳥谷町商工会理事、石鳥谷町青色申告会理事、岩手県塗装工業会企画部長など地域に多くの貢献をなされました菅原さんに謹んでご冥福を申し上げます。